

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

国県道対策事業

【 国県道対策担当 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
総合交通:人と公共交通に快適なまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 都市計画道路腰越大船線(大船立体工区)事業用地の取得にあたり、関係権利者からの要望に対応するため、代替地を整備し活用することにより事業の促進を図る。

効果 交通渋滞の緩和、災害時を含む緊急活動の円滑化を図る。

【事業の内容】

- (1) 国県道対策事業  
・ 代替地のインフラ整備を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,046	14,046	9,924		4,122

主な支出内訳

- ・ 国県道対策事業
  - 上水道審査等手数料 46
  - 代替地整備工事請負費 9,878
    - セットバック部道路・上下水道整備(7区画)

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-04 国県道対策事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1379国県道対策事業					
主管課	国県道対策担当			関連課	下水道課		
分野名	総合交通						
目標 (目標値)	都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業用地の取得にあたり、関係地権者からの要望に対応するため、代替地を活用することにより事業の促進を図る。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	9,924千円	527,779千円	128千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	9,924千円	527,779千円	128千円			
	人員配置数	0.2人	0.2人	3.0人			
	人 件 費	1,873千円	1,830千円	27,345千円			
協働の パートナー	神奈川県		神奈川県		神奈川県		
事務事業 運営経費	総事業費	11,797千円	529,609円	27,473円			
	市民1人当 りの経費	67円	3,011円	157円			
	対象者1人 当りの経費				不特定多数の人等が 利用するため、対象 者数不明。		
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
国県道対策事業	9,925	都市計画道路腰越大船線代替地整備			④	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・都市計画道路腰越大船線の代替地として、宅地造成を県市協働で行ったが、想定してなかった地下埋設物が発見されたことから、この処理について対応する必要が生じた。 ・代替地への移転希望者で、抽選に外れた地権者が、大船地域自転車等保管場所への移転を希望しているため、これについて対応した。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・事業主体である神奈川県と協議・調整を重ね、代替地の宅地造成を協働で完成させた。 ・大船地域自転車等保管場所への移転を希望している地権者の申し入れを認め、その対応として、管理棟等の移転及び1宅地分の造成を平成21年度に行う。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・権利者の多くの方には、理解協力をいただいているが、一部の権利者の方には、交渉を継続しなくてはならない。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・県との連携を図りながら、地権者との交渉の経過を踏まえ、大船立体の早期完成を目指す。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性
	・事業主体である県の事業進捗状況を踏まえ、継続して取り組む。				有
担当課長氏名:	国県道対策担当担当課長 高橋 一也				

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性
	・事業主体である県と連携しつつ、継続して取り組む。				有
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		